

# 清流のほとり

令和8年4月10日(金)発行

園長 露木 美江



寄 松田

つなぐ ～卒園式から入園式へ～

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

「本当は寂しくなっちゃうから、練習に出るの、いやなんだ…」

昨年度末、卒園式の練習に出る年中さんがポツリと言ったそうです。それでも、大好きな年長さんのために毎日練習し、当日はその姿をしっかりと見届け、素敵な年長さんになりました。また、式には参加できませんでしたが、予行練習での年長さんの姿を目に焼き付けた年少さんも、すっかりおにいさん、おねえさんの顔になり、年少さんが来ることを心待ちにしています。

卒園式を通して、先輩の姿を心に刻みながら、感謝や憧れの思いはつながり、新年度へと松田幼稚園がスタートしました。

8日始業式の子どもたちの反応はさまざまで、とてもほほえましい姿を見ることができました。ある年中さんはいちご組前でしばらく立っていて、なかなか動きませんでした。進級したことはわかってはいるものの、何となくその場から離れられなかったようでした。また、ある年長さんは「階段上がるのうれしいな」と2階に行くことへの喜びであふれていました。一方「踏み外すのこわいんだよな」と手すりにつかまり、慎重に上がっていた子もいました。一人ひとりが小さな不安や葛藤、期待などさまざまな思いを抱えながら新年度を迎えていることを強く感じました。

さて、翌日の入園式の年長さんはとても頼りになりました。

長い時間姿勢よく座り、みんなで声をそろえて『お迎えのことは』を言うことができました。特に『園歌』は2番まで力強く歌うことができて驚きました。

新入園児24名も、幼稚園の1日を紹介した紙芝居を一生懸命見て、反応よく応えてくれました。一人も泣かずにしっかりと座っていて、感心しました。

保護者の方には温かい拍手をいただき、とても和やかな入園式となりました。

**お**はよう、**あ**りがとう、**ご**めんなさい

3つの大切にしてほしい言葉も、しっかりと新入園児の心に届いたと思います。

右は、毎年紹介させていただいている「幼稚園教育要領」に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」です。

「10の姿」は、小学校における各教科の到達目標のようなものではなく、植物が根っこから吸い上げる栄養のようなものです。これらは、個別に発達するのではなく、相互に関連し合って積み重ねられていきます。

今年度も10の姿を常に意識しながら、子どもたちの心に栄養を蓄え、それぞれの成長を支えていきたいと思ひます。



## 職員の離退任について

津田将美（園長）：退職

遠藤和孝（運転手）：退職

露木美江（園長）：新任

山田安澄（支援教諭）：新任

三川正行（運転手）：新任

今まで、ありがとうございました

よろしくお願ひします

## 新任職員について